

水が漏れる

確認が
できたら
チェック

①水がどこから漏れているか確認



②吐出口から漏れている

- 噴霧ホース接続部の緩み、パッキンに異物の付着や亀裂などがないかを確認。



- ▶異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。

③ノズルと噴霧ホースの接続部から漏れている

- パッキンがあるか、異物の付着や亀裂などがないかを確認。



- ▶異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。

作業終了後に必ず行うこと

ちゃんと
できたら
チェック

①バケツに水を入れて洗浄噴霧をする

- 清水を入れたバケツ等容器にストレーナを沈め、噴霧を行い、ポンプ内、ノズル、ホースの洗浄を行う。



- ▶怠ると弁が固着し噴霧ができない原因になります。弁の固着を除去するには、分解が必要になります。



③混合燃料を抜く、使い切る

- 本体を傾け燃料を抜くかオイルチェンジャー等で抜く。
- ガス欠になるまでエンジンをかける。



混合燃料の取扱い

ちゃんと
できたら
チェック

①使い切る



作業終了後に清水による洗浄噴霧運転で混合燃料を使い切る。



②余った場合でも1ヵ月以内に使い切る

万が一余った混合燃料は密閉容器に入れ、冷暗所に保管し1ヵ月以内に使い切る。



トラブルを未然に防ぐ



確認
できたら
チェック

動画をご覧ください。ほとんどのトラブルを回避できます。



動画はコチラ 



①正しい組立て・燃料づくり・運転操作をすることでストレスなくご使用いただけます。

[組立てのポイント](#) [燃料の作り方](#) [エンジン始動テスト](#)

[運転操作の仕方](#)



②作業終了後に行うことで、次回快適にご使用いただけます。

[作業終了後に必ず行っていただきたいこと](#)



③お困りごとが解決できます。

[エンジンがかからない!](#) [噴霧できない!](#) [水が漏れる!](#)



取扱説明書と併用してください。

チェックして Go!

保存版

このガイドでできること

- 1 トラブルを未然に防ぐことができる
- 2 トラブルを自己解決できる

2ストロークエンジンセット動噴 ※機種により仕様異なる場合があります。

使用前の準備

ちゃんと
できたら
チェック



①12mm スパナ、14mm スパナ又はペンチやプライヤーをご用意。グリップを取付ける際に使用。



②混合燃料を作る (作り方は下段参照)
・漏斗(じょうご) ・無鉛レギュラーガソリン
・2ストローク用オイル (JASO FB 級以上)



燃料の作り方

取扱説明書
P.13 に掲載



ちゃんと
できたら
チェック

①無鉛レギュラーガソリン [25] に対して 2ストローク用オイル [1] の割合で混合燃料を作る



比率を間違えたり、古い燃料を使用するとエンジンはかからない。





●25 : 1 ガソリンオイル割合早見表

ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
100ml	4ml	400ml	16ml
200ml	8ml	500ml	20ml
300ml	12ml	600ml	24ml

エンジン始動テスト

取扱説明書
P.16に掲載



ちゃんと
できたら
チェック

①噴霧ホースは本体から外す



②バケツに水を入れる

バケツ等容器にストレーナが完全に沈む程度に清水を入れます。
空運転は厳禁!



③混合燃料を燃料タンクに入れる

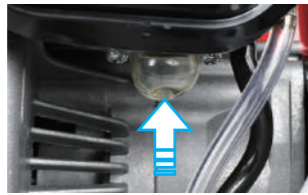
無鉛レギュラーガソリン+2ストローク用オイルの混合燃料(25:1)

▶「燃料の作り方」は P.1 へ



④プライマリーポンプを押す

燃料を引き出します。
燃料がプライマリポンプに溜まり、透明の戻りホースに気泡が出たらOK。



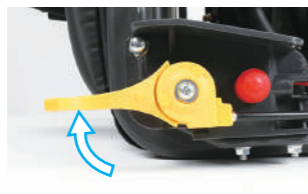
⑤チョークレバーを上にする

エンジンが冷えている場合

▶ 外気温に関係なく、エンジンそのものが冷えている場合で、翌日の再始動などがこれに当たります。



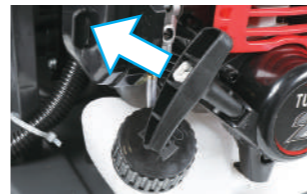
⑥アクセルレバーを全体の 1/4 ~1/2 の位置にする



⑦リコイルスターターを正しく引く

▶ 取扱説明書 P.18 に掲載

ポイント



⑧初爆(ブルン!というかかりそうな音)が確認できたらチョークレバーを下にする

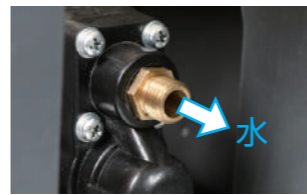
▶ 取扱説明書 P.18 に掲載

ポイント



⑨再度リコイルスターターを引くとエンジンがかかる

アクセルレバーを徐々に上に上げると吐出口から水が出る。



エンジンがかからない

確認が
できたら
チェック

症状・原因	対処	確認が できたら チェック
混合燃料の割合が間違っている	25:1の混合燃料を正しく作り交換 燃料の作り方は P.1 参照 燃料の抜き方は	✓
古い燃料を使用している	新しい燃料と交換	▶ 取扱説明書 P.22 に掲載 ✓
燃料が入っていない	燃料を入れる	✓
チョークレバーを上げずにリコイルを引いている	チョークレバーを上にする 初爆が確認できたらチョークレバー下げてリコイルを引く(エンジン始動テスト⑧参照)	✓
初爆を聞き逃し、リコイルを引き続け、点火プラグが燃料で濡れている	いわゆる「かぶり状態」のため、点火プラグ、ピストン内部を乾かす	▶ 取扱説明書 P.30 に掲載 ✓
点火プラグ不良・キャップの接続不良	点火プラグ先端と接続部分の確認と火花の確認	▶ 取扱説明書 P.26 に掲載 ✓
プライマリーポンプに燃料が来ていない	燃料ホースの詰まりや亀裂 清掃・交換(販売店・メーカーに相談)	✓
	プライマリーポンプに亀裂 交換(販売店・メーカーに相談)	✓
	燃料タンク内の錆や異物の詰まり 清掃	✓

水が出ない(噴霧できない)

確認が
できたら
チェック

①吐出口から水が出るか確認

吐出口に噴霧ホースをつなぐ前にエンジンをかけ、水が出るか確認。

▶ 水が出ればノズルとグリップの接続に問題があります。

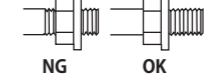


②ノズルとグリップの接続方法が間違っていないかを確認



1

ノズルのナットを指で止まるところまで時計回りに回します。



2

グリップを取付け、回るところまで時計回りに回します。

3

グリップを握り固定させ、ノズルのナットをスパナやペンチ等で締付けます。

③吸水ホースの接続を確認

吸水ホースが、本体ポンプ側の吸水口にしっかり接続されているか確認。



④ストレーナが浮いていないか確認

清水に沈めたストレーナが浮き上がっていないか確認。

▶ 浮き上がっている場合は、沈める。
清水が少なすぎても吸い込みません。



⑤薬剤による弁の固着

使用後の洗浄を怠ると薬剤が固まり弁が固着し、水が出なくなる。

ポイント

